

## 『2012 年上半期（1月～6月）JVA統計調査』について

当協会は9月5日(水)午後3時より、協会会議室において『2012 年上半期（1月～6月）JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2012 年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.74』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

## 2012 年上半期（1月～6月）の実績について

1 . 今期のビデオソフトの総売上金額は1218億3400万円で前年同期比97.0%となり、5年ぶりに前年同期を上回った2011年上半期の実績を再び下回り、前年同期割れとなった。

そのうち、ブルーレイの売上金額は316億4400万円で同129.7%と拡大傾向が続いているが、DVDビデオが901億9000万円で前年同期比89.1%と割り込み、全体に影響した。総売上金額に占めるDVDビデオ、ブルーレイの割合は、74.0：26.0となり、ブルーレイの構成比が全体の1/4を占めることとなった。

また、ビデオソフトの総売上金額における販売用、レンタル店用、業務用の割合は69.5：29.9：0.6となった。

2 . DVDビデオの販売用とブルーレイの販売用を合計した販売用全体の総売上金額は847億2600万円で前年同期比97.9%となった。また、DVDビデオのレンタル店用とブルーレイのレンタル店用を合計したレンタル店用全体の総売上金額は364億1100万円で同94.8%となり、販売用、レンタル店用のどちらの市場とも前年同期を下回る事となった。業務用は6億9700万円で前年同期比は103.4%だった。

3 . 販売用全体の総売上金額に占めるDVDビデオとブルーレイの割合は、64.9：35.1となった。DVDビデオの販売用売上金額は、550億1500万円で前年同期比86.9%と前年同期を割り込んだのに対し、ブルーレイの販売用売上金額は297億1100万円で同127.8%と伸長が続いている。し

かしながら DVD ビデオのマイナスを補えるほどの伸長とはならなかった。

4 .販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は『日本のアニメーション(一般向け)』(構成比30.8%)で前年同期比102.3%、2位に『音楽(邦楽)』(同26.5%)前年同期比100.9%、3位に『洋画』(同11.4%)前年同期比114.1%といずれも好調に推移した。その一方で、構成比6位となった『邦画』(同4.9%)が前年同期比62.0%と大きく割り込み、これが全体に大きく響いたようである。

各ジャンルごとの売上金額におけるブルーレイの構成比では、『日本のアニメーション(一般向け)』が69.0%と7割程度をブルーレイによる売上が占めることとなった。『洋画』は43.2%、『邦画』で28.8%、『音楽(邦楽)』で13.2%となっており、ジャンルによってはばらつきが見られる。

5 .レンタル店用全体の総売上金額に占めるDVDビデオとブルーレイの構成比は、94.7:5.3で、相変わらず圧倒的にDVDビデオが占めている。ブルーレイのレンタル店用は19億1600万円と同167.3%と伸長はしているものの、DVDビデオのレンタル店用売上金額が344億9500万円と同92.5%と、前年同期の104.9%から再び減少に転じたため、レンタル店用全体も前年同期を割り込むこととなった。

レンタル店用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は『洋画』で23.1%を占め前年同期比116.1%と好調に推移した。しかし2位(構成比18.7%)の『日本のアニメーション(一般向け)』が前年同期比97.0%とわずかに割り込み、続く構成比3位(11.8%)の『邦画』が同62.0%、4位(同11.7%)の『海外のTVドラマ』が同80.0%と大きく割り込むこととなった。第5位(11.3%)の『アジアのTVドラマ』は同103.8%、第6位(9.4%)の『日本TVドラマ』も同109.5%と、アジアと日本のTVドラマが前年同期の実績を上回ったが、全体を押し上げるほどではなかった。

前述のとおり、レンタル市場の売上金額全体に占めるブルーレイの割合は5.3%と小さいが、そういった中で『海外のアニメーション(一般向け)』ではブルーレイの占める割合が22.5%、『洋画』では15.1%を占めており、比較的ブルーレイの割合が高くなっている。

以 上